

2025（令和 7）年度 福岡女子大学 帰国生特別選抜

〔 試験問題 〕

国際教養学科

# 総合問題

【 90 分 】

## 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題は 4 ページから 12 ページにあります。問いの数は全部で **11** です。
- 3 解答用紙には裏にも解答欄があります。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験開始と同時に解答用紙の**受験番号欄に受験番号を記入**してください。
- 6 試験終了後，**問題冊子は持ち帰ってください**。





問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

本当は幸せになるための「友だち」や「親しさ」のはずなのに、その存在が逆に自分を息苦しくしたり、相手も息苦しくなっていたりするような、<sup>みょう</sup>妙な関係が生まれてしまうことがあるのです。

私はそれを「同調圧力」と呼んでいます。

\*\*\* (中略) \*\*\*

### ネオ共同性——現代の新たな圧力

今私たちが目の当たりにしている同調圧力は、現代における新たな共同性への圧力（これをネオ共同性と呼んでみましょう）なのではないかなと私は考えています。日本社会はハード的部分（＝物的環境<sup>かんきよう</sup>や法的な制度）では十分近代化したのかもしれませんが、ソフト的部分（＝精神面や価値観）ではまだまだムラ的な同質性の関係性を引きずっているような気がします。しかしそうしたソフト的部分を支えるはずの現実的根拠<sup>こんきよ</sup>が、ムラとイエの現実を支えた伝統的社会とはもはや違っているのです。かつてのムラ的な伝統的共同性の根拠は、生命維持の相互性でした。<sup>まず</sup>貧しい生産力を(a)基盤とした昔の(b)庶民の生活においては、お互いに支えあって共同的なあり方をしていなければ生活が成り立たなかったのです。ですから伝統的なムラ的共同性は、「出る杭は打たれる」「長いものには巻かれろ」といったことわざが示すような同調圧力が強い半面、お互い生活を支えあい助け合うという(c)相互扶助の側面も大きかったのです。

しかし現代におけるネオ共同性の根拠にあるのは、「不安」の相互性です。多くの情報や多様な社会的価値観の前で、お互い自分自身の思考、価値観を立てることはできず、不安が増大している。その結果、とにかく「群れる」ことでなんとかそうした不安から逃れよう、といった無意識的な行動が新たな同調圧力を生んでいるのではないかと考えられるのです。

こうした問題に関連して、①リースマンというアメリカの社会学者が『孤独な群集』(原著初版一九五〇年)という本のなかで、人間が持つ「社会的性格」を三つに典型的に分けて、そのうえで現代人が帯びる特徴<sup>とくちょう</sup>について考察しています。

その類型とは、「伝統指向型」「内部指向型」「他人指向型」の三つです。

**伝統指向型**とは、近代以前の社会に支配的な社会的性格で、自分の主体的な判断や良心ではなく、「昔からこのようになっている」とか「家長がこういっているからこうなんだ」といった形で外面的権威<sup>けんい</sup>や②恥<sup>はじ</sup>の意識にしたがって行動の基準を決めるタイプです。**内部指向型**とは、近代の形成期に見られる社会的類型で、自分の内面に心の羅針盤を持ってその基

準に照らして自分の行動をコントロールするようなタイプの人間です。そしてリースマンは現代人の性格類型を「他人指向型」と名づけます。**他人指向型**とは、文字通り自分の行動の基準を他人（私の表現だと他者ということになります）との同調性に求めるタイプの人間のことを指しています。

リースマンの言う「伝統指向型」「他人指向型」は、さきほどの私の共同性についての考察と照らし合わせてみると、それぞれ「ムラの共同性」「ネオ共同性」に対応するというわけです。そしてそれぞれに性格づけの異なる同調圧力が見られるのです。

「**同調圧力**」「**ネオ共同性**」という言葉 키워드를、自分たちの身のまわりをとらえなおしてもらえると、意外と見えてくるものがあるのではないのでしょうか。

もちろん、「ねぇみんな、これって“同調圧力”だから、もう少しゆるやかな関係にしようよ」「そうだね、じゃあその辺バランスよくやっていこう」なんてことには、すぐにはならないでしょう。でも、言葉には他の人とのコミュニケーションの手段であると同時に自分の内面の気持ちに**(d)リンク**を与えるという大事な働きもありますよね。もやもやした気持ちが言語化できただけでも、精神的にずいぶん違ってくるのではないのでしょうか。

## 同質性から並存性へ

同調圧力のような形でお互いに**(e)ショウモウ**しあうことが、なるべく無いような友だちの作り方が、そろそろ必要なのではないかと思います。

悩んでいないで、そういう同調圧力、あるいはいじめの一いじめられるという関係から、少しでも抜け出す発想を持とうと考えることです。具体的にどうするかはさまざまなケースがあるので、そのケースに即して考えなくてはなりません、しかし発想の基本、関係を考え直す原理的なとらえ方というものはあります。

③それが私がとくに強調したい「同質性」から「並存性」へという考え方です。

人の間と書いて「人間」というくらいですから、もともと人間は共同的本質を帯びていると考えられます。その本質が目に見える形で直接現実の人間関係として具体化されたあり方が、かつてのムラの共同体なわけです。そこでは、つながりをものすごく**(f)キンミツ**にして、とにかく「一緒にいる、一緒にいる」ということがとても大事に考えられていたわけです。

「みんな同じ」ということをとりわけ大切にする感じ方、考え方をここでは同質性の重視と呼びましょう。そして共同性という人間の本質が「同質性」をとりわけ強調されて現実化される性質を持つ場合、「**同質的共同性**」というキーワードを用いることにします。これは第1章でも触れた、伝統的なムラ社会のようなところでは、従来望ましいと考えられてきた人間関係のあり方です。

しかし、現代社会において人間の共同性は、一方でとても(g)抽象的な形で、直接的でなく間接的、<sup>ばいかいてき</sup>媒介的な性質を帯びてますます広がっています。

みなさんはあまりお気づきになっていないかもしれませんが、「貨幣 (= お金)」に媒介された人間関係がそれです。④貨幣が社会全体に<sup>しんとう</sup>浸透しているということは、じつは人間の共同性がなくなって、みんなバラバラになってしまったのではなく、目に見えない間接的な形で人間の共同的本質が世界規模に拡散したと考えた方が正確です。

それが「グローバル化」ということの意味です。

貨幣とは、共同性という人間の本質が、抽象的な形で具現化したものと理解することができます。これを「**抽象的共同性**」と言い表すことができるでしょう。

だって、私たちが着ているジャケットはお隣<sup>となり</sup>の国、⑤中国の名も知らない誰<sup>だれ</sup>かが(h)縫製したものかもしれませんし、今飲んだ⑥コーヒーの豆は地球の裏側のブラジルからいろいろな人の手を介して運ばれてきたものかもしれません。

個人が経済的に自立するというのは、貨幣を媒介することによって、世界レベルで他者たちの活動へ依存するということと表裏一体なのです。生活の基盤をつくる人びとの〈つながり〉が、直接的に目に見える人たちへの直接的依存関係から、貨幣と物を媒介にして目に見えない多くの人たちへ間接的依存関係へと変質したのです。これが現代の共同性の実現の一方のあり方です。

そして一方で、こうした生活基盤の成立によって、家族関係や友人関係といった身近な他者との関係において親しさや暖かさを(i)ジュンスイに求める時間的<sup>よゆう</sup>余裕や意識のあり方(= よりプライベートな関係や活動を大切にするなど)が可能になっているのです。

しかし現代社会におけるこうした共同性の二重の成り立ちにきちんと対応するしかたで、人びとの精神的構えが出来上がっていないのが現状なのではないでしょうか。

⑦貨幣—経済的ネットワークを背景にして、各家庭ごとのあるいは一人ひとりの活動の自由や多面化が進行しているにもかかわらず、「みんないっしょ」という同質性が強く求められると、やっかいなことが起こるわけです。

人びとは一方で個性や自由を獲得し、人それぞれの能力や欲望の可能性を追求することが許されているはずなのに、もう片方でみんな同じでなければならないという同調圧力の下に置かれているというあり方に引き裂かれてしまっているのです。

こうした関係の作り方の歪みをとらえようとしたキーワードが、先ほど指摘<sup>してき</sup>した現代における⑧ネオ共同性という言葉です。この在りかたに<sup>とら</sup>囚われている限り、今の悩みからなかなか抜け出せないのです。

これに対して、「並存性」「共在性」などという言葉もあります)とは、「異なるものが同時に存在する」という意味です。

近代以降、現代社会になってますます人間は、ムラ的共同性もっていた直接的な(j)コウソ

クリヨクから切り離された形で、都市的な自由や個性の追求が可能になったのです。それまではたとえ個性を持ちたいと思っただとしても、それを社会的に実現する場所ときっかけを与えられることがなかった人びとが、近代以降、しだいに自分の好きな振る舞い方や欲望の実現を求めることができるようになったのです。

こうした状況のなかでは、実際は身近にいるからといってみんな同じというわけにはいかず、自分とは違う振る舞い方、自分とは違う考え方や感じ方をする人びとといっしょに過ごす時間も多くなります。とりわけ学校や職場といった、自分が好むと好まざるとにかかわらず、他者といっしょにいないといけない現在の組織的集団においては、こうした経験は避けられません。

㊤、現在社会においては、「気の合わない人」といっしょの時間や空間を過ごすという経験をせざるを得ない機会が多くなっているのです。だから「気の合わない人と一緒にいる作法」ということを真剣に考えなければならないと思います。そしてそれが、「並存性」というキーワードで私が表そうとしている中味です。

⑨現代のさまざまな人間関係の問題を解消するための方法として、「並存性の重視」ということをきちんと主張すべき段階にきているのではないかと私は考えます。

菅野仁『友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える』筑摩書房、2008年、52-63頁

問1 下線部(a)~(j)について、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問2 下線部①について、次の文章は、リースマンの『孤独な群集』要約版第1章の冒頭である。下線部を日本語に訳しなさい。

This is a book about social character and about the differences in social character between men of different regions, eras, and groups. It considers the ways in which different social character types, once they are formed at the knee of society, are then deployed in the work, play, politics, and child-rearing activities of society. More particularly, it is about the way in which one kind of social character, which dominated America in the nineteenth century, is gradually being replaced by a social character of quite a different sort. Why this happened; how it happened; what are its consequences in some major areas of life: this is the subject of this book.

(Riesman, David with Nathan Glazer and Reuel Denney, *The Lonely Crowd: A study of the changing American character*. Abridged edition with a 1969 preface, New Haven & London: Yale University Press, 1989, p. 3.)

at the knee of~ ~のお膝元で

deploy 展開する、配備する

politics 政治

child-rearing 子育ての、育児の

問3 下線部②について、20世紀の小説家、太宰治は『恥』という短編小説を書いた。このことに関連して、次の二つの小問に答えなさい。

A. 次の小説のうち、太宰治の作品ではないものを一つ選びなさい。

走れメロス

人間失格

羅生門

斜陽

B. 上で選んだ作品は、誰の作品か。下から選びなさい。

中島敦

芥川龍之介

島崎藤村

宮沢賢治

問4 下線部③「それ」が指しているものを抜き出さない。

問5 下線部④について、次の(あ)～(え)から、江戸時代における貨幣について説明した文章を一つ選びなさい。

(あ) 天下を統一した幕府は貨幣制度の改革をはかり、新貨条例を制定し、貨幣の単位を円・銭・厘に統一した。

(い) 幕府は各地の金・銀山を直轄にして貨幣の鑄造権をにぎり、天正大判などの貨幣を鑄造した。また蓄銭叙位令ちくせんじょいれいを発して貨幣の流通をはかった。

(う) 江戸では粗悪な私鑄銭が流通し、取引の際に悪銭をきらい良質の銭を選ぶ撰銭えりぜにがおこなわれたため、取引が混乱した。

(え) 年貢は米のほかに貨幣でもおさめることができたので、農民は現金収入がえられる商品作物を多くつくるようになった。

問6 下線部⑤について、中国について説明した次の(あ)～(え)のうち、適切ではない文章を一つ選びなさい。

(あ) 中国の農業は、長江（揚子江）を境にして、南の地域では畑作が中心で、北の地域では稲作がさかんである。

(い) 1970 年代末に对外开放政策が始まり、華中・華南の沿海部に経済特区や経済技術開発区が設けられた。

(う) 内陸部の農村からは、働き盛りの世代が、工業が発達した沿海部の都市の工場や工事現場に出稼ぎに出ている。

(え) 中国内陸部の砂漠化が原因で発生する黄砂や、工場や自動車からの排ガスが原因とされる PM2.5 は、海を越えて日本にも飛来している。

問7 下線部⑥について、コーヒーに関係する次の（あ）～（え）のうち、適切ではない文章を一つ選びなさい。

(あ) 17～18 世紀のイギリスやフランスなどでは、コーヒーハウスが市民の社交や公論形成の貴重な場となった。

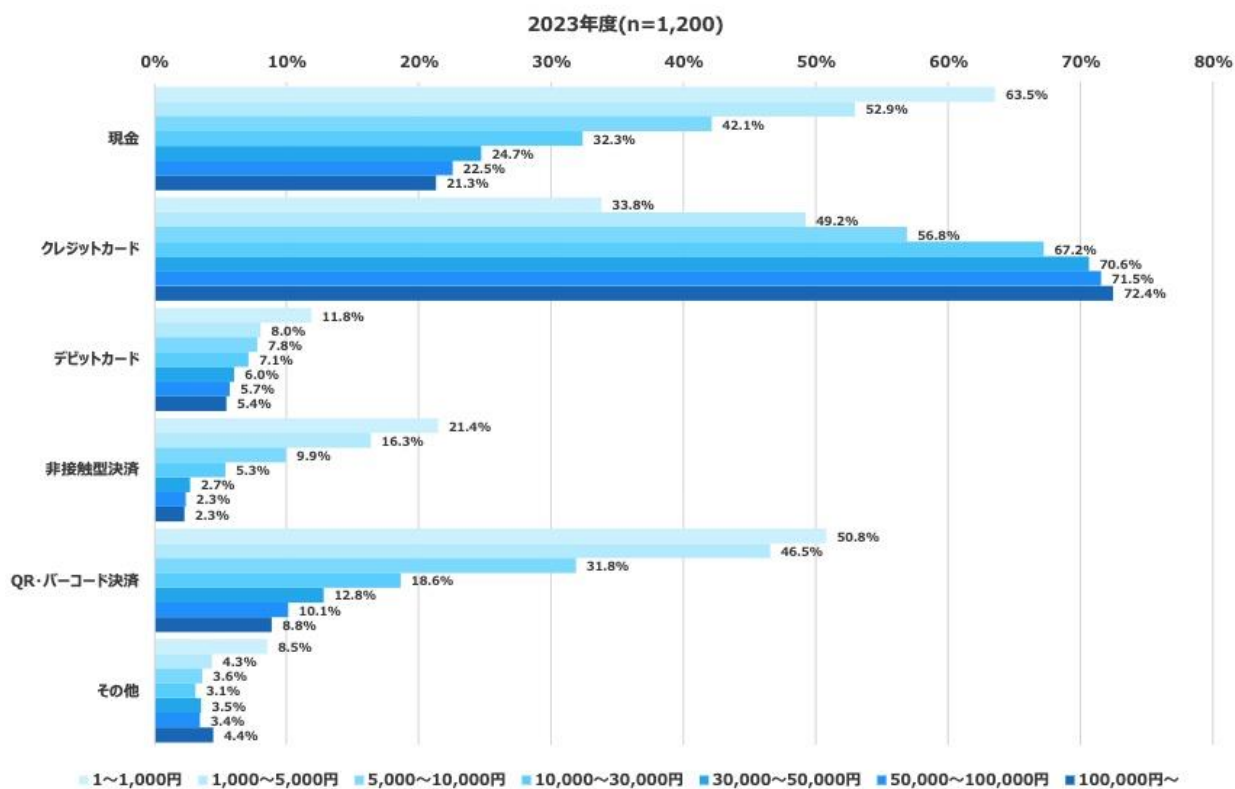
(い) ヨーロッパ人はサトウキビやコーヒーをアメリカ大陸に持ち込んだ。そしてこれらを生産するための大農場を開発し、アフリカから黒人奴隷を運び込んだ。

(う) イギリスは 19 世紀初めから、中国の茶をイギリスに、イギリスの綿製品をインドに、インド産のコーヒーを中国に運ぶ三角貿易を始めた。

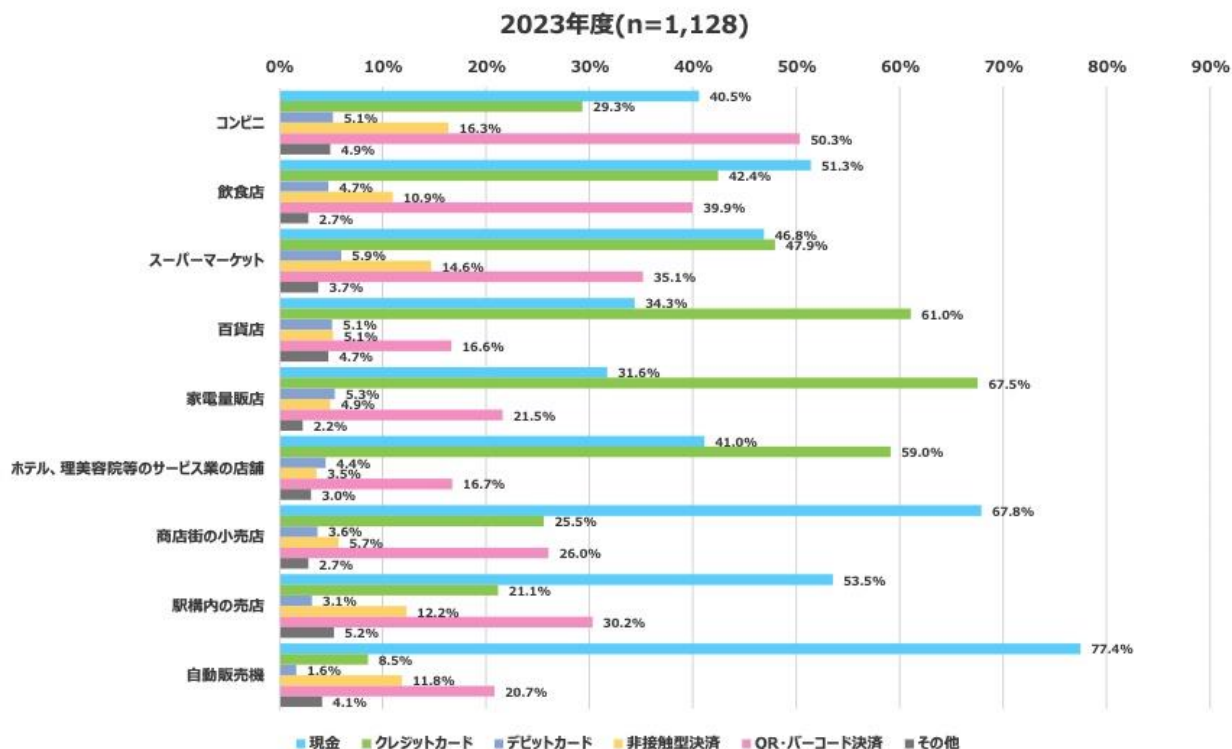
(え) インドネシアに進出したオランダは、19 世紀前半には、ジャワ島でコーヒーやサトウキビなどの輸出用作物の強制裁培制度を実施した。

問8 下線部⑦について、次のグラフは、2023 年度の日本における決済方法を調査した結果である。二つの小問に答えなさい。

## Q18.日常の決済で主に利用する決済手段（複数回答可）



## Q20.支払い場所ごとに利用する決済手段（複数回答可）



（注）Q20はキャッシュレス決済を利用している1,128人に尋ねている。

19

通貨に関する実態調査 令和5年度（2023年度）調査結果概要（[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/mof\\_budget/release/itaku/seikabutsu/20240628tsuuka1.pdf](https://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/release/itaku/seikabutsu/20240628tsuuka1.pdf)）

財務省ホームページ「通貨に関する実態調査」（令和5年度）（[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/mof\\_budget/release/itaku/seikabutsu/2024062801.html](https://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/release/itaku/seikabutsu/2024062801.html)）から。2024年7月26日入手

デビットカード：支払いにおいて銀行口座から即座に金額が引き落とされる決済方法

非接触型決済：交通系ICカード、スマートフォンなどを専用端末にかざして決済を行う決済方法

キャッシュレス決済：硬貨や紙幣などの現金ではなく、電子的貨幣価値のデータの送受信によって決済を行う決済方法

A. これらのグラフから読み取れるものを、下の（あ）～（え）からすべて選びなさい。

- (あ) 消費者は、支払い価格帯が高くなるほど、現金を使用する傾向がある。
- (い) どの支払い価格帯においても、デビットカード決済の利用者の割合は、非接触型決済の利用者の割合よりも低い。
- (う) 商店街の小売店や自動販売機では、現金が用いられる割合が多い。
- (え) キャッシュレス決済の利用者は、百貨店や家電量販店ではクレジットカードを使う割合が多い。

B. 2023 年度時点の日本では、QR・バーコード決済が一定の程度で使用されている。その背景には、どのようなことがあると考えられるか。100 字程度で書きなさい。

問 9 

|   |
|---|
| ㊦ |
|---|

に入る、最もふさわしい接続詞を下から選びなさい。

しかし      そして      つまり      また

問 10 下線部㉔について、筆者が論じる「ネオ共同性」とはどのようなものとまとめることができるか。文中の表現を用いつつ、50 字程度で記述しなさい。

問 11 下線部㉕という筆者の考えに対し、昨今の社会情勢を踏まえて、あなたの意見を 600 字以内で記述しなさい。

